



天浜線・姫街道ウォーク(第5ステージ)

サ・ファイナル

2014.04.27 17km

コース紹介

新東名の遠州森町PAで体操を済ませてウォーキング開始です。円田駅を過ぎて用水路沿いの農道をしばらく進み、県道278に出て遠州森駅に向かいます。この駅は数少ない有人駅の一つで、駅舎は有形文化財に登録されていて趣があります。ここからは10:18発の列車に乗って原田駅まで行きます(乗車賃は参加費に含まれています)。初めての試みをお楽しみください。1両列車に全員乗り込むので天浜線ではめったにない(？失礼？)ラッシュアワー並みの混雑でしょう。原田駅からは原野谷川の土手をのんびりと歩きます。桜並木もあってもう少し早い時期なら花見も楽しめたはず。川が大きく湾曲したところで川から離れ、細谷駅後の踏切を渡ると昼食場所のいこいの広場がもうすぐです。ここまでで約10kmです。もう疲れたと言う人はここからバスに乗って掛川城に行きます。全コース踏破メンバーが到着するまで、お城を見学(入場料400円は各自負担)したり、城下町を散策したりしてゆっくりお過ごしください。他のメンバーは昼食後、町中を歩き、西掛川駅を過ぎたら逆川(さかがわ)沿いの道(途中遊歩道もあります)を掛川城まで歩きます。ここから掛川駅まで行き、昨年9月に始まった天浜線・姫街道ウォークの終焉を迎えます。全5回参加された方には表彰状(と、何か良いもの)が送られますのでこれも楽しみに！

次回申込 (車内で)

安曇野の里ウォーク

☆期 日 5月18日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 6:00
☆参加費 5000円
☆〆切 5月13日(火)

コース

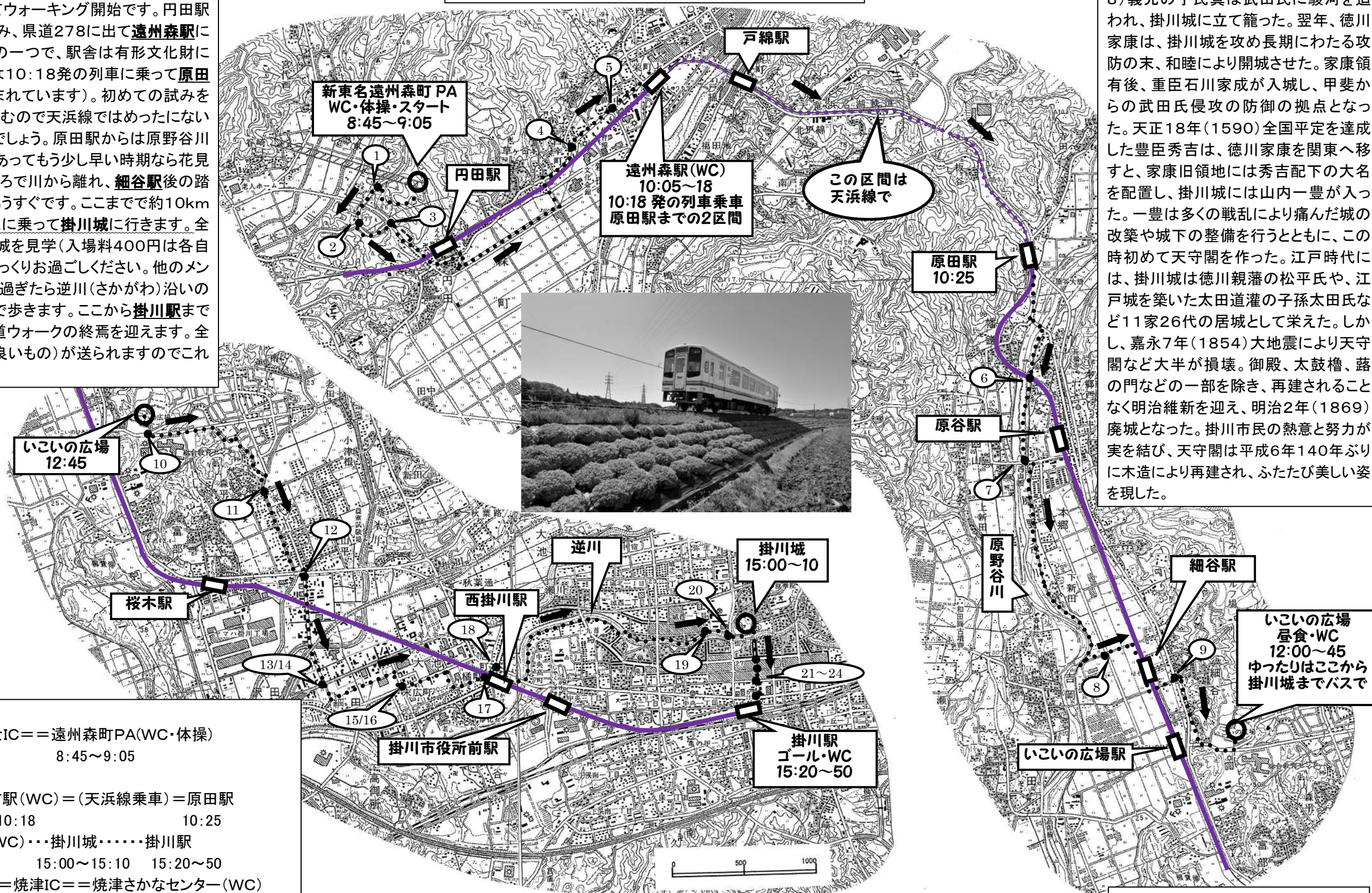
往路(バス) 富士宮駅南口 == 新富士IC == 遠州森町PA(WC・体操)
7:30 8:45~9:05

ウォーク 遠州森町 PA...遠州森町駅(WC) = (天浜線乗車) = 原田駅
9:05 10:05~10:18 10:25
...いこいの広場(昼食・WC)...掛川城.....掛川駅
12:00~12:45 15:00~15:10 15:20~50

復路(バス) 掛川駅 == 東名掛川IC == 焼津IC == 焼津さかなセンター(WC)
15:50 16:30~17:10
== 清水JCより新東名へ == 新富士IC == 富士宮駅南口
18:00

参加者の皆様へ

- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している
他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。



掛川城

掛川城は戦国時代の文明年間(1469~86)、駿河守護大名今川義忠が遠江支配の拠点として、重臣朝比奈泰熙(やすひろ)に築かせたといわれている。桶狭間の戦(1560)で今川義元が織田信長によって倒されると、永禄11年(1568)義元の子氏真は武田氏に駿河を追われ、掛川城に立て籠った。翌年、徳川家康は、掛川城を攻め長期にわたる攻防の末、和睦により開城させた。家康領有後、重臣石川家成が入城し、甲斐からの武田氏侵攻の防御の拠点となった。天正18年(1590)全国平定を達成した豊臣秀吉は、徳川家康を関東へ移すと、家康旧領地には秀吉配下の大名を配置し、掛川城には山内一豊が入った。一豊は多くの戦乱により痛んだ城の改築や城下の整備を行うとともに、この時初めて天守閣を作った。江戸時代には、掛川城は徳川親藩の松平氏や、江戸城を築いた太田道灌の子孫太田氏など11家26代の居城として栄えた。しかし、嘉永7年(1854)大地震により天守閣など大半が損壊。御殿、太鼓櫓、蒔の門などの一部を除き、再建されることなく明治維新を迎え、明治2年(1869)廃城となった。掛川市民の熱意と努力が実を結び、天守閣は平成6年140年ぶりに木造により再建され、ふたたび美しい姿を現した。

緊急時連絡

増田 敏幸 080-2612-4825

高戸 栄行 090-8135-3306